



※すべての講座は、道民カレッジ、えべつ市民カレッジの連携講座です。

秋の道産作物の生産と健康機能性を高める調理・加工法 & 薬膳試食 ～チコリー、ヤーコン、菊芋、タマネギ、タモギ草など～

講師：北翔大学・北翔大学短期大学部
学長 西村 弘行

日程 11/4 土曜日 講演 10:00～11:30 試食 11:40～12:40

道内寒冷地の特色ある作物、チコリー、ヤーコン、菊芋、タマネギ、タモギ草などは、無農薬あるいは減農薬で栽培ができ、これまで美肌や健康の効果を科学的に証明してきました。さらに、それぞれの機能性を引き出す調理・加工法を見出したので、参加者にお伝えいたします。今回は、この技術を活用した美味しい薬膳メニューを試食体験します。

受講料：無料（材料費 800 円/当日お受けいたします。） 申込締切：10/24(火) 定員：90 名

セルフ・イメージを変える

講師：生涯スポーツ学部スポーツ教育学科 教授 佐藤 至英

日程 10/7、11/4 土曜日 全 2 回 10:00～11:30

「思考は現実化する」あるいは「あなたが思うとおりの人生を歩む」ということばを聞いたことはあるでしょうか？性格を変えることはできるのでしょうか？どのような毎日をすごすかは、日頃何を思うかによって左右されます。そして、何よりも重要なのは、自分をどう思っているか、すなわちセルフ・イメージが大きな影響を及ぼします。本講座では、セルフ・イメージとは何か、どのように形成されたのか、どのように変えるのかについて、具体的かつ実際に学びます。

受講料：無料 申込締切：9/29(金) 定員：30 名

こころとからだのストレスケア

講師：元北翔大学短期大学部 教授 伊藤 和幸

日程 10/14、10/28、11/11、11/25、12/2 土曜日 全 5 回 13:30～15:30

体は心の入れ物です。心は体の司令塔です。体の不調は心に、心の不調は体に表れます。何気ない日常生活での動きの癖や仕事や人間関係の緊張から、肩こりや偏頭痛、腰痛などに悩むことが多いのです。臨床動作法に基づく「動作」を一緒にしてみませんか。自分の体の動きを知ることが健康生活の第一歩。体が楽になれば、心も楽になります。

* 持ち物：上履き、トレーナーやジャージなど動きやすい服装、汗拭きタオル

受講料：無料 申込締切：10/4(水) 定員：30 名

江別市の活断層地形と洪水跡地を巡るバスツアー第 2 弾

講師：教育文化学部教育学科 准教授 横山 光
教育文化学部芸術学科 教授 千里 政文

日程 10/21 土曜日 ①9:00～12:00 ②13:00～16:00 (どちらか、ご都合の良い時間帯をお選びください。)

江別市にあるとされる活断層や、過去の洪水跡地をバスで巡りながら、江別で起こりうる自然災害について考えてみるバスツアー第 2 弾です。昨年度実施した公開講座では、大変好評でしたが残念ながら大雪に見舞われ景色を見ることができませんでしたので、時期を早めるとともに、午前、午後の 2 回実施いたします。ご都合の良い時間帯にお申し込みください。

受講料：無料 申込締切：10/11(水) 定員：各 40 名

草木染「秋の彩りを染める」

講師：元北翔大学 非常勤講師 樺澤 京子

日程 11/1、11/8、11/15、11/22 水曜日 全 4 回 10:30～13:00

秋に使いたい色を中心に木の葉や草などで色を得て、単色から重ね深みのある作品に仕上げてみましょう。

● 持ち物 エプロン、ゴム手袋、汚れてもよい服装、木綿糸、縫い針（絞り染めされる方のみ）、筆記用具

受講料：無料 材料費：6,000 円程度（染料、助剤、媒染料など）/当日お受けいたします。

申込締切：10/20(金) 定員：10 名



「聖書」に学ぶ生きるヒント

講師：生涯スポーツ学部スポーツ教育学科 教授 佐藤 至英

日程 11/25 土曜日 10:00～11:30

よりよい人生を求めて毎日を過ごしていきたいと願いながらも、人間関係に悩み、ストレスをかかえてしまうのはなぜでしょうか？どうすればもっとハッピーに生きることができるのでしょうか？本講座では、世界のベストセラーである「聖書」から、人生のこれらの疑問に具体的なかつ実践的な答えを見つけます。実りある豊かな人生とは何か、本当の豊かさとは何かについても、いっしょに考えていきたいと思います。

受講料：無料 申込締切：11/1(水) 定員：30名

人が集えば文殊の知恵袋講座

コーディネーター：短期大学部ライフデザイン学科 教授 田口 智子

江別在住もしくは江別に造詣の深い方々をゲストスピーカーにお招きし、江別の歴史や暮らしをテーマに掲げ、江別に通ずる貴重なご講話で綴られる講座です。

受講料：無料 定員：各30名（お申込みは月毎にお願いします。）

【10 月度】野幌太々神楽の伝承	10/24(火) 13:10～14:40	申込締：10/13(金)
講師：野幌太々神楽伝承会 佐藤 誠 氏		
明治31年の野幌神社秋季例大祭で、神楽が初めて奉納されました。奉納したのは、五十嵐金作氏（明治27年入植）で、ルーツは新潟県三条市の三条神楽です（当時は23舞、現在は20舞）。明治42年以降、毎年春・秋の例大祭に奉納されていました。昭和32年、氏子全員を会員とした「野幌神社神楽保存会」を結成。昭和48年に「江別市無形民俗文化財」に指定されました。平成7年には教育委員会の呼びかけで、「江別市野幌太々神楽伝承会」が結成され、野幌の神楽を一地域の伝統芸能にとどめず、市民と行政が一体となり、「江別市の神楽」として、後世へ継承する取り組みが始まりました。伝承会は平成13年から、「野幌の舞」という名称で、市民向けの発表会を毎年実施し、野幌太々神楽の伝承に努めています。		
【11 月度】江別市女性団体協議会の役割について	11/14(火) 13:10～14:40	申込締切：11/3(金)
講師：江別市女性団体協議会 代表 工藤 多希子 氏		
江別市女性団体協議会は、昭和27年(1952年)、江別町にて結成され、本年65年を迎えました。本協議会発足以来、多くの方のご支援を得て活動をいたして参りました。本講座では、私たちの長年の活動の中から主な①第39回えべつ女性協まつり、②第65回江別市女性大会、③おもちゃ図書館、④その他ボランティア活動、等についてご報告させていただきます。そして、今後皆様と共に、いかなる活動ができるか検討をする機会とさせていただきたいと考えております。		
【12 月度】江別カルタで辿る江別物語 2017	12/12(火) 13:10～14:40	申込締切：12/1(金)
講師：江別創造舎 副代表 萬 範幸 氏		
2013年江別創造舎が製作した江別の文化・歴史を題材とした江別カルタを活用して、本講座を展開していきます。北海道開拓の深く関わった江別の文化・歴史をカルタ句から選んで、皆様と共有し、楽しく学ぶ機会としたいと考えています。年度の締めくくりを江別カルタで、皆様と楽しく過ごしましょう！		

裏千家茶道教室

講師：裏千家準教授 深井 宗久

受講料：無料（教材費：各5,000円/当日お受けいたします。）

日程：全4回 13:30～15:30 定員：各8名

日本文化を学びます。美しい立居振舞、四季折々の茶会、そのための初歩の基本の修練、「道、学、実」を学びましょう。許状申請の取次もできます。

コース	日 程	申込締切
10月コース	10/10,10/17,10/24,10/31	9/29(金)
11月コース	11/7,11/14,11/21,11/28	10/27(金)
12月コース	12/5,12/12,12/19,1/16	11/24(金)
1月コース	1/23,1/30,2/6,2/13	1/12(金)
2月コース	2/20,2/27,3/6,3/13	2/9(金)

●持ち物：白ソックス、ベルト、帛紗、茶席用扇子など



毛糸のボンボンで“ひよこのマスコット”をつくろう!!

講師：元北翔大学 教授 那賀島 彰一



日程 12/16 土曜日 13:00~15:30

みなさんは冬休みの自由研究が決まりましたか？今回は、毛糸のボンボンで“ひよこのマスコット”をつくりましょう。マスコットができあがったら、布を編み込んでマスコットをかざる入れものもつくりま。

●持ち物 筆記用具・はさみ

受講料：無料（材料費：600 円/当日お受けいたします。） 申込締切：12/6(水) 定員：25 名

北翔大学おもしろ算数教室～大学の先生と大学生のお兄さんお姉さんと算数を楽しもう！～

講師：教育文化学部教育学科 准教授 三浦 公裕 他ゼミ学生

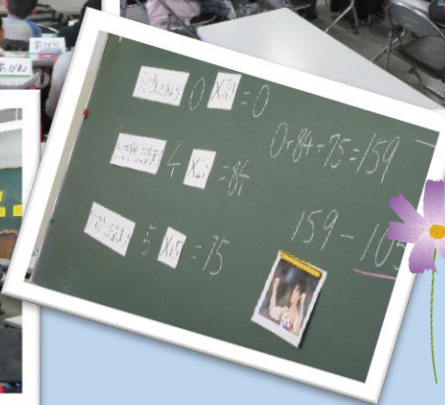
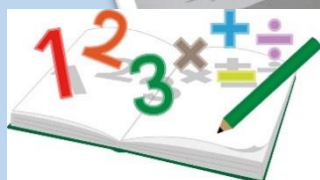
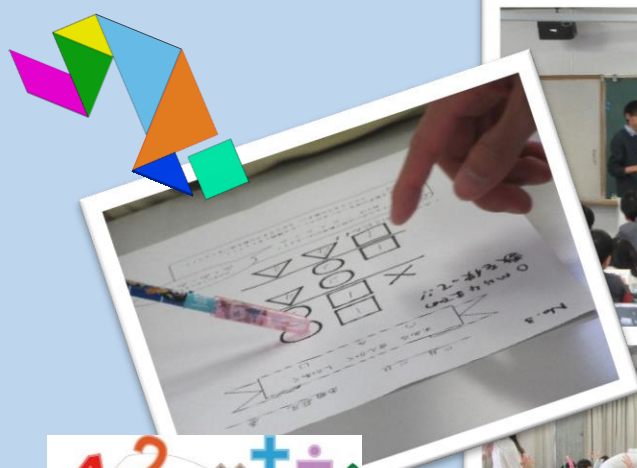
普段学校であまり取上げられない教材を用いて、図を書いたり、決まりを見つけたりなど、算数の基本となる考え方をじっくり楽しく学びます。常に、手を動かし、頭を動かし、算数の不思議にたくさん触れてみましょう。算数の面白さがきっと感じられます。大学生のお兄さん、お姉さんが一人一人丁寧に指導します。

日 程：土曜日 10:00~11:30 全 2 回

受講料：無料 定員：各 20 名

保護者の参観可能です。
できるだけ 2 回参加してね☆

コ ー ス	内 容 (予 定)	日程	申込締切
小学 6 年生	① 「正方形の不思議」「カレンダーの不思議」「かずづくり」 ② 「ハノイの塔」「フィボナッチ」「正 2 / 5 角形」	10/7 10/14	9/27 (水)
小学 5 年生	① 「何頭でつりあうのかな」「さっさだて」「さいころの不思議」 ② 「タングラム」「5 進術」「5 0 0 mL」		
小学 4 年生	① 「変わり方調べ」「九九表の不思議」 ② 「35 億 5000 万」「何回生きられるかな」	10/21 10/28	10/11 (水)
小学 3 年生	① 「図形探偵」「九九ビンゴ」 ② 「算数語と日本語」「コマの模様」		
小学 2 年生	① 「かずづくり」「どうやって切ったのかな」 ② 「ネズミのお食事」「たからさがし」	11/4 11/11	10/24 (火)
小学 1 年生	① 「なにができるかな」「アイスクリーム」 ② 「不思議なトンネル」「お買い物ごっこ」		



お申込み お問合わせ

FAX、メール、往復はがきのいずれかの方法にて下記項目をご記入のうえ、お申込みください。
①申込講座名、②郵便番号・住所、③氏名（ふりがな）、④性別、⑤年齢、⑥電話番号
お申込み受付後、開講のご案内をいたします。お申込み後、10日以内に連絡がない場合には、
お手数ですが地域連携センターまでお問い合わせください。
FAXでのお申込みの際は、別紙「講座受講申込書」をご利用ください。

〒069-8511

江別市文京台 23 番地

北翔大学

地域連携センター

TEL: 011-387-3939 (直通)

受付時間 平日 9 時～17 時

kouzacen@hokusho-u.ac.jp



アクセス

▶ 札幌駅から

JR 札幌駅	JR函館本線 快速で約12分・普通で約15分	JR 大塚駅	徒歩 約15分
-----------	---------------------------	-----------	------------

▶ 新千歳空港から

JR新千歳 空港駅	JR千歳線 快速で約28分	JR 新札幌駅	JRバス・タ鉄バス ※右図参照	北翔大学前 札幌学院大前	徒歩 約5分
--------------	------------------	------------	--------------------	-----------------	-----------

▶ 新札幌から

JR 新札幌駅	(新札幌バスターミナル直結) JRバス・タ鉄バス ※右図参照	北翔大学前 札幌学院大前	徒歩 約5分
------------	--------------------------------------	-----------------	-----------

▶ 小樽から

JR 小樽駅	JR函館本線 快速で約60分・普通で約1時間15分	JR 大塚駅	徒歩 約15分
-----------	------------------------------	-----------	------------

▶ 苫小牧から

JR 苫小牧駅	JR室蘭本線 特急で約40分	JR 新札幌駅	JRバス・タ鉄バス ※右図参照	北翔大学前 札幌学院大前	徒歩 約5分
------------	-------------------	------------	--------------------	-----------------	-----------

(新札幌バスターミナル直結)

北
翔
大
学

▶ 新札幌からバスでのアクセスについて

新札幌バスターミナル 北レーン

9	10	11	12	13	14	15
---	----	----	----	----	----	----

北レーン 10・12番のりばのいずれから乗車してください。
平日は 10～15 分に一本の割合で発車しています。

10 JRバス (所要時間 約 10 分)

- 【循環新 82】新札幌駅行 文京台線
- 【循環新 83】新札幌駅行 文京台線
- 【新 24】大塚 11 丁目行 大塚団地線
- 【新 24】道立図書館前行 大塚団地線
- 【新 25】ゆめみ野東町行 江別線
- 【新 26】江別駅行 江別線
- 【新 26】野幌駅北口行 江別線
- 【新 29】情報大学前行 野幌運動公園線
- 【新 29】野幌運動公園行 野幌運動公園線

12 タ鉄バス (所要時間 約 10 分)

- ・新札幌駅～文京台南町 行き
- ・新札幌駅～南幌東町 行き
- ・新札幌駅～あけぼの団地行き
- ・新札幌駅～タ張南部 行き など

※表示の所要時間はあくまで目安ですので時間にゆとりをもって交通機関をご利用ください。



お願い

- 受付は先着順となります。
- やむを得ず受講できなくなった場合には、事前にご連絡ください。
- 受講者が一定の人数に達しない場合には、開講できない場合がございます。予めご了承ください。
- 駐車スペースに限りがありますので、公共交通機関での来場にご協力ください。特別の事情がある場合には予めご相談ください。